



# 第42回歴史講演会

## 終戦70周年 今明かされる歴史の真実 大東亜戦争とアジアの独立

昭和18年(1943年)「大東亜会議」に参加した各国首脳。左からバー・モウ(ビルマ)、張景恵(満州国)、汪兆銘(中華民国)、東條英機(日本)、ワンワイタヤーコーン(タイ)、ホセ・ラウレル(フィリピン)、スバス・チャンドラ・ボース(インド)

現在、世界には195の独立国(日本が承認している独立国)がありますが、その内非白人国は112ヶ国あります。これらの国のほとんどは第二次世界大戦後に独立できました。なぜできたのか。それは大東亜戦争のお陰なのです。

米国は対日戦争計画(オレンジ計画)の下、日本に圧迫を加え続けました。満州、シナ問題への干渉、介入。排日移民法の制定等々。日本との協調共存を許容しない米国との対立が頂点に達したのが大東亜戦争でした。

わが国は国家の独立と尊厳、民族の存立のため戦う道しか残されてなかったのです。大東亜戦争はわが国最大の国難であり悲劇でもありました。

しかし、日本は大東亜戦争を敢行することにより、欧米数百年の植民地支配に止めを刺し、遂にこれを終焉せしめ、有色民族の解放と独立を導き、人種差別を撤廃し、人種的平等の世界を打ち樹てることに成功したのです。

日本は敗戦、占領という一大犠牲を払いましたが、数千年の世界史における一大偉業をやり遂げたのでした。

皆様是非ご参加下さい！お待ちしております。

- 1945年 - 大東亜戦争終戦
- 1945年 - ベトナムがフランスから独立を宣言
- 1946年 - フィリピンがアメリカから独立
- 1947年 - インドとパキスタンがイギリスから独立
- 1948年 - スリランカがイギリスの自治国として独立
- 1948年 - ビルマ連邦がイギリスから独立
- 1949年 - インドネシアがオランダから独立
- 1953年 - ラオスがフランスから完全独立
- 1953年 - カンボジアがフランスから独立
- 1957年 - マレーシアがイギリスから独立



講師: 岡田幹彦氏

(日本政策研究センター主任研究員)

### ■プロフィール

昭和21年北海道生まれ。国学院大学中退。学生時代より日本の歴史、人物の研究を続け、月刊『明日への選択』に人物伝を連載中。「歴史街道」「歴史通」などにも寄稿。平成21~22年産経新聞に「元気のでる歴史人物講座」を連載。全国各地で歴史人物の講演活動を行う。

■著書『東郷平八郎』『乃木希典』『小村寿太郎』(展転社)、『日本を護った軍人の物語』(祥伝社)、『日本の誇り103人』(光明思想社)他多数



昭和18年(1943年)東京で開かれた「大東亜集結国民大会」で演説を行うスバス・チャンドラ・ボース

と き: **4月29日(水・祝)**

午後2時~4時30分

当日はアジア独立と大東亜戦争の歴史の真実に迫る感動のドキュメント映画「自由アジアの栄光」を上映!

と ころ: **仙台市シルバーセンター**

6階・第2研修室

青葉区花京院1-3-2

仙台駅西口徒歩8分・東北電子専門学校隣

参加費: 一般1,000円・学生無料

主 催: 宮城ビジョンの会

TEL022(285)3383

後 援: 宮城県教育委員会・産経新聞社東北総局

日本会議宮城県本部

「日本のおかげでアジアの諸国はすべて独立した。日本というお母さんは難産して母体をそごなったが、生まれた子供はすくすくと育っている。今日、東南アジアの諸国民が米英と対等に話ができるのは、いったい誰のおかげであるか。それは身を殺して仁をなした日本というお母さんがあつたためである。十二月八日は、我々にこの重大な思想を示してくれたお母さんが、一身を賭して重大決心をされた日である。我々はこの日を忘れてはならない。ククリッド・プラモード(タイ国元首相)

「太陽の光がこの地上を照らすかぎり、月の光がこの大地を潤すかぎり、夜空に星が輝くかぎり、インド国民は日本国民への恩は決して忘れない。」  
P・N・レキ(インド最高裁弁護士)